

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 22 年 2 月 3 日

審査機関名：SGS ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	重油焚きボイラの高効率都市ガスボイラへの転換による省エネ事業
排出削減事業者名	おぼろタオル株式会社
排出削減共同実施事業者名	ナットソース・ジャパン株式会社
事業実施場所	おぼろタオル株式会社 本社工場（三重県津市上浜町 3-155）
事業の概要	<p>既存の A 重油焚きボイラ 2 台を、高効率の都市ガスボイラ 3 台に更新し、エネルギー効率を改善することで、エネルギー消費量を削減する。</p> <p>また、ボイラ燃料である A 重油の使用に対し、都市ガスを動力源とするボイラに転換することによって、CO2 排出量の削減を図るものである。</p>
排出削減量の計画	152 tCO2/年（事業実施期間合計：482 tCO2）
国内クレジット 認証期間	開始日 2010 年 2 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラの更新

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

3. 実施した審査手続の概要

審査手続により、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続
日本国内で実施されること	事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。 排出削減事業実施場所：おぼろタオル株式会社 本社工場 三重県津市上浜町 3-155
追加性を有すること	1) 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO2 排出量の削減を目的として実施されたことを、関係者への質問等により確認した。 2) 排出削減事業を実施せず、設備更新を行わない場合、既存設備を継続して利用できることを、現地において機器のメンテナンス記録などで確認している。 3) 排出削減事業の投資回収年数は 12.5 年である。投資回収年数計算の根拠データについて、質問及び検算、関連証憑との突合により正確性を確認している。 4) おぼろタオル株式会社は、従来から環境保全活動に熱心に取り組んでいる。国内クレジット制度を活用することにより、CSR 活動への取り組みに対するアピール効果が期待できることが本事業への投資決定の重要な要因となった。
自主行動計画に参加していない者により行われること	排出削減事業者及び共同実施者へのインタビューにより、当事業者が自主行動計画制度に入っていないことを確認している。
排出削減方法論に基づいて実施されること	1) 本排出削減事業は、承認済排出削減方法論 001 に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることを確認している。 適用条件 1 については、既存 A 重油ボイラのボイラ効率を現状レベルで計算し、計算結果を確認した。都市ガスボイラは、既存ボイラより高効率のボイラに更新されることを製品カタログで確認している。 適用条件 2 については、現地訪問時に既存ボイラ 2 台が問題なく稼働している状況を確認している。さらに過去の点検記録を現地にて確認している。また既存設備の導入時

	<p>期が、1995年であり、耐用年数の著しい超過に当たらない。</p> <p>適用条件3については、事業実施前及び実施後のボイラで生産した蒸気及び温水が、継続的に自家消費されている状況であること、今後も継続することを、現地視察及びヒヤリングによって確認している。</p> <p>2) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリング方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p> <p>リーケージについては、ボイラで使用される電力消費量が削減される試算結果を確認した。また、これまでA重油をタンクローリーで輸送していたが、配管からの都市ガス使用となることから、輸送におけるCO2削減につながっており、リーケージ要因は考えられない。</p>
--	---

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

4. 特記事項

投資回収年数については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。

以上